

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路新設改良事業(松木14号線)		所管課【2】	建設課
			評価者(担当者)	安田信洋
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(3)「15分構想」の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H23～H28 年度予定 : 金額 103,040 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法、河川法 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			
			款	8
			項	2
			目	3
			細目	14

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市道松木14号線については、松木・六田地区方面から市中心街へと繋がる路線である。しかし、T字交差点が幅員が狭く、車両が離合できずに交通の妨げになっているため早期に改善する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市道小浜繁根木線と一体的に道路整備をすることにより、交通車両の離合や歩道の確保を図り、安全な交通網を構築する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H27 年度～ H29 年度まで】										
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】										
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】										
事務事業の具体的内容 【14】	市道小浜繁根木線と一体的に道路整備を行う。 L=120m W=15m										
	事務事業を構成する細事業【15】 ⇒ <table border="1"> <tr><td>①</td><td>松木14号線委託事業</td></tr> <tr><td>②</td><td>松木14号線補償事業</td></tr> <tr><td>③</td><td>松木14号線工事請負事業</td></tr> <tr><td>④</td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td></tr> </table>	①	松木14号線委託事業	②	松木14号線補償事業	③	松木14号線工事請負事業	④		⑤	
①	松木14号線委託事業										
②	松木14号線補償事業										
③	松木14号線工事請負事業										
④											
⑤											

《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	— %		4,455	46,769	61,229
		県支出金	%				
		起債	95 %		7,905	46,813	65,330
		受益者負担					
		その他					
		一般財源			416	2,510	3,441
	【16】 小計		0	0	12,776	96,092	130,000
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.00	0.00	0.20	0.20	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
【17】 小計		0	0	1,152	1,152		
合計		0	0	13,928	97,244		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 松木14号線委託事業	道路改良の測量設計委託業務を行う。	委託件数	件	0	0	3	0
② 松木14号線補償事業	道路改良の補償業務を行う。	契約件数	m ²	0	0	0	1
③ 松木14号線工事請負事業	道路改良の工事請負業務を行う。	整備延長メートル数	m	0	0	0	100
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 松木14号線の整備率	整備済延長/計画延長×100	%	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	83.0
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市道小浜繁根木線と一体的に道路整備をすることにより、交通車両の離合や歩道の確保を図り、安全な交通網を構築するため、現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	社会資本整備総合交付金事業として、採択され、交付金の配分を受けることとなった。それに伴い、事務事業を効果的、効率的に行うため、他の社会資本整備総合交付金事業(岱明玉名線、小浜繁根木線、竹崎1号線)との事務事業を一本化した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	玉名市の中心部を繋ぐ重要な道路であり、交通車両や歩行者が多く利用しており、現状のまま継続して行う。	評価責任者 松野 政宏
------------------	---	----------------